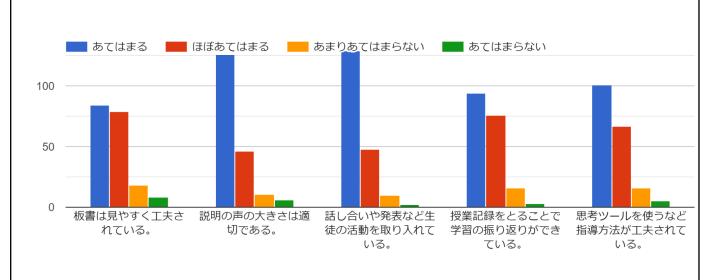
学習指導に関する現状と課題(1学期 生徒による授業評価アンケートより)

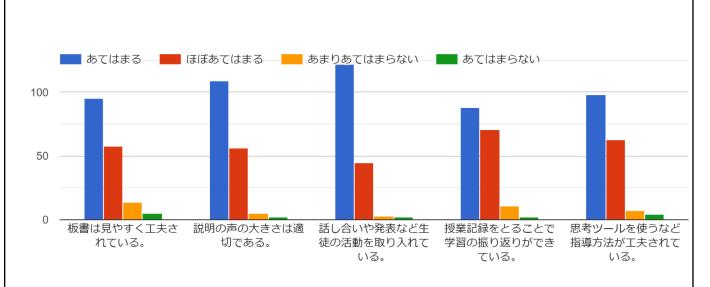
1年 国語の授業について



分析

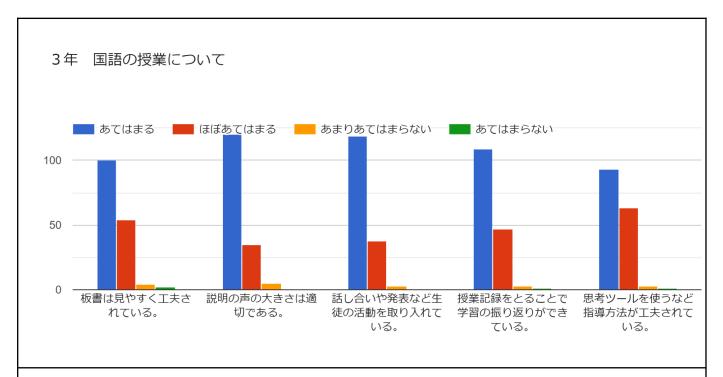
1学年は積極的に話し合いができる学年である。今後は話し合いで深まった考えを、整理して表現する力を培っていきたい。考えを整理する手段として、思考ツールの活用に慣れることが課題である。思考ツールを表現活動に活かしていけるよう、授業展開や教材の工夫を行いたい。

2年 国語の授業について



分析

どの分野も肯定的評価が7割程度ある一方、否定的な評価をしている生徒がどの項目にも10~20%みられる。授業のマンネリ化を感じている生徒、ついていけないと感じる生徒がいるためだと考えられる。去年一年は生徒の主体的な活動を取り入れることを意識してきたが、今後は板書の見やすさ、基礎的な事項の徹底などに力を入れ、基盤となる知識・技能をしっかりととらえられる授業を目指していきたい。



分析

おおむね肯定的な評価が出ている。今後の課題としては、板書の工夫と思考ツールの積極活用だと考える。話し合いや発表の活動を多く取り入れているので、ここでの思考ツールの積極活用をしていきたいと考えている。また、ユニバーサルデザインを意識した板書を取り入れることで、より見やすい板書となるように工夫をしていく。